

第24回 日本社会福祉士会・全国大会社会福祉士学会(愛媛大会)分科会 スケジュール表

会場	ひめぎんホール メインホール(1F)	ひめぎんホール 第6会議室(3F)	ひめぎんホール レストランオレンジ(1F)	ひめぎんホール別館 第11会議室(1F)	ひめぎんホール 第1会議室(2F)	
分科会	権利擁護	生活構造	相談援助1	地域支援	福祉経営・相談援助2	
進行	福田 幸夫	成田 すみれ	吉田 光子	稲嶺 裕子	久留須 直也	
9:25~9:30	オリエンテーション	オリエンテーション	オリエンテーション	オリエンテーション	オリエンテーション	
1	9:30~10:00	成年後見制度市町村長申立ての現状分析と課題抽出 宮崎県内市町村担当者へのアンケート調査から	生活保護定時制高校生の修学継続要因に関する研究 ～当事者インタビューの分析から～	グループスーパービジョンを活用した就労支援研修の在り方の提案 ～フォーカス・グループ・インタビュー参加者の振り返りを手がかりに～	老人クラブの活動にみる地域福祉の推進力 ～SCAT分析による老人クラブリーダーの活動観の抽出～	企業ソーシャルワークによる雇用継続への貢献 ～働く人の就労継続と人権尊重のために～
		日田 剛 (宮崎)	内田 充範 (山口)	山下 千浪 (富山)	濱田 さやか (神奈川) 《共同研究者》 小倉 光男 谷川 謙 長 律子	野垣 美由紀 (東京) 《共同研究者》 前廣 美保
休憩 5分						
2	10:05~10:35	虐待対応における地域包括支援センターの社会福祉士の役割と課題 ～今後の愛媛県虐待対応専門職チームの在り方について～	ひとり親家庭等に対するアウトリーチ型相談支援の必要性 ～2011年度熊本県ひとり親家庭等心と体の健康づくり支援事業報告～	セルフ・ネグレクトへの介入における動機づけ面接の応用について ～被害者支援施設における事例の分析より～	子ども食堂から見る、地域で暮らし育つ子どもへの支援の課題 ～他の子ども支援に関わる社会資源との関係から可視化される課題について～	急性期病院に勤務するMSWの新人教育におけるチュートリアルの開発: ソーシャルワークの「技術」に注目したスーパーバイズにおける情報共有の可視化
		山崎 健二 (愛媛)	紫藤 千子 (熊本) 《共同研究者》 黒田 信子 堀端 裕 西 章男	川崎 千枝 (東京)	清水 冬樹 (北海道)	三谷 勇一 (大阪) 《共同研究者》 井畑 恵美 門田 翔太
休憩 5分						
3	10:40~11:10	地域包括支援センターにおける高齢者虐待事例の傾向分析とその実践課題 ～虐待の「みえにくさ」に気づくアセスメント実践に向けて～	Wホームレス宿泊所での生活構築の取り組みの有効性について ～生活の場に求められる機能とは～	主観的ニーズの尊重と社会参加支援 ～障害者支援施設における事例の分析より～	広島土砂災害における広島県社会福祉士会の活動局局地激甚災害時の独自活動と士業連携	介護保険事業所における日常生活支援総合事業開始後の意向調査
		谷口 雄哉 (大阪) 《共同研究者》 塩田 祥子 宮本 明里	坂本 佳代子(埼玉) 《共同研究者》 戸田 由美子	山口 佳子 (栃木)	河野 喬 (広島) 《共同研究者》 百川 晃 平岡 和子 赤山 亮 河口 幸貴	井谷 礼 (三重) 《共同研究者》 城山 真澄 大西 丈二
休憩 15分						
4	11:25~11:55	地域包括支援センターの高齢者虐待対応を考える ～経済的虐待事例を振り返って～	離島を支える二次救急病院医療ソーシャルワーカーのアセスメントの問題点 ～Bio Psycho Social 視点から導かれるCL像～	離島の重度患者への退院支援で陥った倫理的ジレンマ ～SW実践モデルを用いて振り返った家族の気持ちを理解するための関わり～	社会福祉士による被災地支援活動に関する研究 ～東日本大震災後の宮城県内での職能団体の活動に焦点をあてて～	支援困難事例対応時の地域包括支援センター3職種と介護支援専門員の連携 ～介護支援専門員から見た3職種への役割期待～
		則武 弘美 (岐阜)	河上 忠浩 (愛媛)	飯島 荘史 (長崎) 《共同研究者》 平畑 隆寛、山口 沙織 木村 亮太、武藤 大司 山下 真由子、前田 睦美	佐藤 博彦 (宮城) 《共同研究者》 塩村 公子 渡邊 圭	大原 直美 (兵庫)
休憩 5分						
5	12:00~12:30	社会福祉士養成における「性同一性障害」を抱える学生に対する合理的配慮について ～基本的人権アプローチに基づくソーシャルワーカー教育を目指して～	主介護者自身のがん発病を契機に直面する不安とSWの役割に関する一考察			特別養護老人ホームにおける施設ソーシャルワークの現状と今後のあり方について ～2年間にわたる生活相談員とのKJ法を用いた共同研究活動を通して～
		谷内 孝行 (東京) 《共同研究者》 白井 信光	郡 章人 (徳島) 《共同研究者》 井村 洋平 黒田 百恵 林 春菜			熊坂 聡 (山形) 《共同研究者》 峯田 幸悦、伊藤 和雄 大泉 克仁、竹田 征子 三浦 真澄、有澤 重樹 八島 恵美子、佐々木 誠 青木 ルミ子、照井 孫久

会場	ひめぎんホール 第5.7会議室(3F)	ひめぎんホール 第8会議室(3F)	ひめぎんホール 多目的ホール(1F)	
分科会	実践研究	自主企画シンポジウム	愛媛特別分科会	
進行	虹釜 和昭	岡田 多恵子	中谷陽明	
	9:25~9:30	オリエンテーション	オリエンテーション	
1	9:30~10:00	虐待の発生要因と地域課題との関連性を探る ～地域アセスメントの実施による地域課題とその要因の一考察～ 伊藤 健二(愛知) 《共同研究者》 佐藤 洋子 山岡 美和子 安藤 仁美	9:30~12:30 《シンポジウム》 社会福祉士の専門性・倫理性向上をめざして ～教育・研修、スーパービジョン、事例検討・事例研究～ ○コーディネーター 岡田 まり(京都) ○シンポジスト 潮谷 恵美 野村 豊子 片岡 靖子 《共同研究者》 潮谷 有二 岡本 民夫	9:30~12:30 《テーマ》 命を支えるために 自殺予防～社会福祉士はどんな分野でかかわれるか～ 人はなぜ自殺するのか、日本はなぜ自殺が多いのか。経済・生活・病氣・法律・障害・家族関係・社会保障制度の問題から自殺に至る要因を分析する。愛媛県において多職種連携で行ってきた自殺予防相談の実績を切り口に、実践と理論の両面から議論を重ね、焦点を探る。世の中の仕組みに対応できるソーシャルアクションと自殺予防のために社会福祉士ができる支援を考える。 ○コーディネーター 中谷 陽明 ○コメンテーター 清水 康之 ○シンポジスト 猪飼 周平 光田 正 久幾田 勢子
	休憩 5分			
2	10:05~10:35	ソーシャルワーカーの困難な状況における対応に関する一考察 ～精神障害者通所施設内の研修結果の内容分析的手法～ 杉田 貴行(大阪)		
	休憩 5分			
3	10:40~11:10	制度につながりにくい退院支援事例から考えるソーシャルワーカーの役割と課題 助田 展子(奈良) 《共同研究者》 御供 志織 植田 寿之		
	休憩 15分			
4	11:25~11:55	急性期病院における自殺未遂者支援について ～精神科病床を有さない三次救急医療現場における自殺未遂者支援の実際～ 藤田 昌子(神奈川) 《共同研究者》 山口 雅子		
	休憩 5分			
5	12:00~12:30	福祉の総合相談支援研修と支援体制 ～宮城県社会福祉士会認定社会福祉士～ 小湊 純一(宮城) 《共同研究者》 安住 美喜子、内田 幸雄 及川 由佳、西澤 英之 加藤 美和子、富田 悠介 渡部 匠、江藤 美智子		